令和３年度　山梨県立白根高等学校

第４回　学校運営協議会　議事録

１　開会のことば（教頭）

２　校長あいさつ

日頃より、本校教育活動へのご協力、またコロナ禍のなかでのご出席ありがとうございます。

新型コロナの影響により、現在分散登校が続いております。来週からの状況はまだわかりません。本校では感染防止対策に厳格に取り組んでおり、クラスターといった状況は出ておりません。今週は特編授業で対応しています。

３年生はしめくくりの時期に入りました。１１８名が卒業予定、なかでも１か年皆勤は３１名にのぼります。推薦入試、総合型入試について、大変順調に結果を出しています。難しいといわれる看護系の学校にも全員が合格しています。

１１月、１２月は修学旅行も実施され、落ち着いた学校生活が送れていました。２学期の納め式では、ステージが埋まるほどの入賞者が出ました。特にウェイトの活躍が目覚ましく、２年の金丸さん、望月さん、小林さんは全国選抜に出場します。ウェイト場の拡張工事も順調です。PTA 活動としては、１１月２５日にクリスマスケーキ講座を実施しました。２７日にはペンキ塗りを実施、駐輪場が綺麗になりました。ですが、新年になりオミクロン株の拡大とともに、新人戦が一部中止になるなどの影響があり、スキー教室も中止となりました。

この２年間、ICT 環境整備はかなり前進しました。Classi の活用、Teams を利用した SHR などを現在取り入れています。来年度からは、新入生は全員が PC を持って入学してきます。本校でも先生方へ ICT 活用を促しており、２回目の相互授業観察では ICT 機器の利用をお願いしました。今後も促進を図っていきます。

来年度から新学習指導要領が実施されます。本校ではすでにクロスカリキュラムへの取り組みに力を入れています。また、キャリア教育も充実しており、その長年の取り組みが評価され、先日文部科学大臣から表彰を受けました。

この１年間、貴重なご意見をいただきありがとうございました。本日も、来年度にむけて貴重なご意見をお願いいたします。

3　教育活動報告（学校側説明）

1　学習支援グループ（資料最終頁参照）

1 前期募集入学許可予定者数及び後期募集の募集人員について

後期は８１名の募集のところ、現段階では８４名が出願予定です。

2　生徒支援グループ（資料Ｐ1～5参照）

1 生徒会関連行事　　2 部活動実績　　3 納め一覧　　4 表彰一覧

5 支援を要する生徒とその対応

支援を要する生徒については、特別支援教育委員会を4回実施することができました。スクールカウンセラーを活用しながら学校全体として対応に当たっています。

3　進路支援グループ（資料Ｐ6参照）

1 合格状況

資料中、赤字になっている「留学１」については、自力で韓国の大学に合格した生徒が該当します。国公立大学については、現在のところ県立大学に１名が合格をしています。

4　学校管理グループ（資料Ｐ7～8参照）

1 就学支援金、奨学給付金受給者について　　2 学校施設・設備の改善について

3 PTA 活動及び地域との連携　　4 令和３年度 PTA 事業計画

施設の改善については、格技場の改修工事、白朋館のプロジェクター設置が今年度中に完了する予定です。

PTA 行事は中止になってしまったものもありましたが、クリスマスケーキ作り、ペンキ塗りができたことは幸いでした。

５　生徒指導グループ（資料Ｐ８～９参照）

１ 生徒指導関係年間行事　　２ 生徒指導の状況

生徒指導の状況については、今年度は自転車・原付の交通事故が増えてしまったものの、いずれも大事にはいたっていません。交通違反は０件です。

６　情報管理グループ（資料Ｐ１０参照）

広報活動について。HP はほぼ毎日更新されています。

Ｐ１１（山梨県教育委員会に対する意見）について。１月の段階で県への要望をまとめるよう要請があったので、これまでにいただいたご意見を、資料のような形でまとめました。
学校運営協議会委員のコーディネーターにあたる人については、来年度は入っていただくよう検討しています。

４　＜議事＞　議長：川野会長

第１号議案　学校評価アンケートおよび山梨県立学校における学校評価システムについて

（教頭より）
Ｐ１２・１３をご参照ください。Ｐ１４が点検シートと、その回答結果です。概ね高評価をいただきましたが、「わからない」の回答もあり、協議会の運営について反省しているところです。Ｐ１５は自己評価・学校関係者評価です。委員の皆様には、赤い部分（学校関係者評価）について評価をお願いしたいと思います。（郵送・メール、どちらでも）
Ｐ１６以降は委員の先生方からいただいた意見をまとめたものです。今お読みいただいて、何かご意見がありましたらお願いいたします。「３　地域との連携協力について」→今年度、コロナ禍にあってもインターンシップが実施できたことは大きな成果といえます。　「４　教育課程について」→見えにくい部分であり、難しい部分ではありますが、何かあればご意見をお願いします。現在、純粋な「理系」は少ない状況です。「５　生徒指導・進路指導について」→挨拶については大変良いとの評価をいただいています。一方で、バイク事故等の心配も寄せられています。「６　その他について」→アンケートの取り方について、ご意見が寄せられました。Ｐ２０・２１は、１年間のまとめのページです。

このような形での報告でよろしいか

→承認

第２号議案　来年度の活動計画について

（校長より）
Ｐ２２をご覧ください。活動計画のいずれもコロナ次第といえます。実際、今年度３月に予定されている文化部発表会も、開催の可否がいまのところ不明です。感染症拡大によって、地域との連携が明らかに妨げられている現状です。

１）総合的な探究の時間「白根プロジェクト」について
昨年、今年度取り組んだ「次世代キャリア教育教材『エナジード』」については、来年度はお休みする予定です。来年度は地域に根差した探究を多く取り入れます。
今年度については、分野別職業懇談会は、来週実施予定だったものを３月に延期しました。
１年生：地域探索や防災小説へ取り組むことで、「本当に災害が起きた」際の行動に変化が生じると考えられます。
２年生：インターンシップを中心に据えた活動です。
３年生：進路を見据えた活動です。卒業前に、南アルプス市のキャッチコピーを考えさせる活動も取り入れたいと考えています。

２）南アルプス市等、地域との連携について
今年度、交通事故防止キャンペーンや書道パフォーマンス等を行ったことで、南アルプス署から感謝状をいただきました。
わかば支援学校との交流も引き続き持続していきます。
桃源郷マラソンボランティアについても、できるだけ多くの生徒に協力を呼びかけます。
「南アルプスエコパーク周辺ガイド」の編集は着々と進んでいます。いずれ皆様にもお見せできるようになると思います。
ロータリークラブとの連携も引き続き図っていきます。
市川三郷吹奏楽団については、文化部発表会での合奏ができるかどうか、今後の状況次第です。

→承認

第３号議案　その他

（議長より）
私たちの意見が県教委に届けられることになるので、何かあればどうかご意見をお願いします。

→各委員からの意見は特にありませんでした。

５　意見交換・懇談

五味委員：このような時節で大変だと思いますが、生徒にとっては１度きりの学校生活。良い思い出を作ってあげてください。白根高校に入学、卒業してよかったと、誇りを持てるように。

内藤委員：来年度の活動計画について。コロナ禍のなかでは計画を立ててきっちりやっていくことはそもそも難しい。活動をどのように学校の教育目標とリンクさせ、結果として残していくのか、それを評価するのはたいへん難しいが、PDCA サイクルをしっかり回していくことが理想ではないか。本日の授業参観では、ICT を活用している状況も見られて安心した。現状を「良い機会」ととらえて、ICT 活用については、より前に進めていくことも必要と考える。

北村委員：学校評価について。学校経営以外の部分は見えにくい部分が多く、「わからない」を選んでしまった。ただ、機会を重ねていくうちに関係もできてくる。ロータリークラブを通じて、白根の生徒とも関係ができてきている。白根の生徒はボランティア活動にも前向き。学校教育とは別に、地元への貢献といった意味で、そういった活動にも積極的に取り組んでもらいたい。

秋山委員：コロナの影響で学校の状況が耳に入りづらくなっているが、学校に来る機会は多いので、生徒や先生方の様子を目にすることは多い。先生方はよく頑張ってくれており、生徒も楽しく活動できている。だからこそ、絶対的に先生の数が足りないように感じる。事務室の様子も心配。先生方や事務職員の方々のケアの必要性を感じる。ウェイトや野球部を中心によく頑張っており、イメージアップにつながっている。メディアも活用しているので、

白根は楽しそうという話も耳にする。ICT については、やっていかなければいけない社会となっている。先生方にもがんばっていただきたい。

飯野委員：今日は委員同士でも話ができて、繋がりができた。こういった機会を通じて、来年ますます会がよくなることを期待したい。昨年ある中学で進路対策をしていた際、「通過点でなく、高校そのもので輝いてほしい」と感じた。小中学校でも、挨拶ができる子どもを育てようとしている。小中学校で学んだことを高校でスパイラル的にさらに膨らませることができると良い。

加藤委員：多くのメディアでの戦略を感じます。２学期に YBS ラジオの番組出演した白根高校生の声をきいたが、大変楽しそうだった。在校生がとても楽しんでいるように感じられた。甲府の学校にはない魅力を発信しながら、わくわくするような学校づくりを目指してほしい。

金丸委員：保護者の立場から。Classi について、携帯に直接学校からの案内がくるので学校の意思が保護者に伝わりやすくなった。修学旅行についても、なんとか実施できたことは大変喜ばしい。

川野委員：今回、校長から運営協議会の相談を受けた際、やはり面と向かって話すことの大切さを感じ、開催できたことを良かったと思う。６月４日に同窓会を開会予定だったが、延期を決定した。再来年はぜひ開会したい。自分は野球部出身だが、なんとか９名集まったことが大変喜ばしい。

教務主任：いろいろなご意見をありがとうございました。コロナの影響で制限されてしまう部分もありますが、年を追うごとにコミュニティスクールとしての活動が根付いていけばと考えております。今後ともご協力をお願いします。

事務長：様々な要望を聞くなかで、できるだけ対応するようにしてきた。資料Ｐ２０、報酬の手続きについての説明。報償額は資料の通り。Ｐ２１、旅費は支給されないとあるが、これは学校評議員会の場合であり、学校運営協議会委員には支給される。（県とは確認済み。）

３７円／１km を支給。今年度新たに委員となられた方々には封筒をお渡ししたので、書類を確認いただいて、手続きをお願いします。個人情報に関わるものなので、返信の際には簡易書留で手続きをお願いします。できれば３月４日までに。
教頭：１年間ありがとうございました。学校運営協議会は、県内の高校では３校しかまだ実施していません。学校評議員として外部評価をしていただく性格も持っています。小中では何校も実施されていますが、成功している学校も潰れてしまった学校もあるようです。委員の皆様には、応援団のような形で関わっていただけるとありがたい。学校としても飯野委員が仰ったように、小中での教育がスパイラル的に高校で膨らんでいくように努力していきたいと思います。

校長：来年度に向けて闘志がわいてきました。野球部も念願の単独１チームとして立ち上がりそうな状況です。桃源郷マラソンと春季大会がぶつかってしまうが、今回は単独チームとして申し込みました。メディア戦略はかなり頑張っていますが、航空がバレーで優勝してしまったことでウェイトのインタビューやテレビ放映がダメになってしまい残念でした。今後もメディアには積極的にアプローチしていきたいと考えています。文部科学大臣からの表彰もあり、リクルートの雑誌からも取材依頼がきています。
第１次進路希望調査では厳しかった中学生の希望状況が、スクールツアーの影響からか、第２次では盛り返しました。スクールツアーは教員があまり介入せず、生徒自身が主導するような体制をとったことが、中学生にも高評価でした。その姿を見て、本校で生徒会に入って活躍したいとアンケートに書いた中学生もいました。委員の皆様には今後もどんどん来校いただいて、白根の生徒を知ってもらいたい。入試での集まり具合も回復しています。白根の応援団として、委員の皆様にはぜひ来年もお願いしたい。なお、南アルプス市観光課の職員でホッケーのコーチとしても活躍されている方に来年度、学校運営協議会委員として加わってもらう予定です。

６　諸連絡

７　閉会のことば（教頭）